

令和3年度 柏陽高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

I プログラムの策定状況

(1) プログラム策定の体制について

前年度の実施結果をもとに、不祥事ゼロプログラムを策定した。

(2) 課題とした項目

- ① 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）
- ② 職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止
- ③ 生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止
- ④ 体罰、不適切な指導の防止
- ⑤ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止
- ⑥ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）
- ⑦ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守
- ⑧ 業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）
- ⑨ 財務事務等の適正執行

II 不祥事ゼロプログラムの達成状況及び取り組むべき課題

- ① 職員会議後に「不祥事防止研修会」を開催し、教育委員会不祥事防止啓発資料を教材に不祥事防止意識を高めることができた。
- ② すべての業務を複数で担当し、声掛けを意識して実施することで事故防止効果を高める。
- ③ 多忙な中で業務を行うので、スケジュールにおけるマネジメント能力を高めていく。
- ④ 業務スケジュールを計画的に設定し、事故防止につながるようにする。

III 不祥事防止研修会の実施状況等

不祥事防止課題	目標	実施状況	達成状況
①法令順守意識の向上	公務員として法令順守意識の向上を図り、校務外非行の未然防止に努める	4月1日 コンプライアンス意識の醸成	○
②職場のハラスメントの防止	人権を尊重し、わいせつ行為・スクールセクハラの未然防止に努める	4月23日 職場のハラスメントの防止 7月14日 STOP!ザ・セクシャル・ハラスメント	○
③生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒との距離感の誤認や判断誤りを防ぐことで未然防止に努める	7月13日 教員のわいせつ事案に関する職場討議	○
④体罰・不適切な指導の防止	人権に配慮した指導を行い、体罰・不適切指導の未然防止に努める	9月16日 体罰、不適切な指導の防止	○
⑤入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	日常点検や相互チェックを行い、入学者選抜・成績処理及び進路関係書類に係る事故の未然防止に努める	8月27日 定期試験・成績処理の事故防止 1月27日 入学者選抜の事故防止	○

⑥個人情報等管理、情報セキュリティ対策	個人情報等を適正に管理し、個人情報流出の未然防止に努め、情報セキュリティ対策の徹底を図る	5月20日 児童・生徒の個人情報の取扱い 9月28日 個人情報の適切な取扱い・情報セキュリティ	○
⑦交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、交通事故防止・酒気帯び運転の発生を防止する	11月19日 飲酒運転の根絶	○
⑧業務執行体制の確保等	情報を共有し、相互チェック体制・業務協力体制の徹底を図る	2月10日 入選マニュアルに関する研修	○
⑨財務事務等の適正執行	会計に係るルールを周知し、公費・私費を適正に処理する	10月19日 適切な私費会計の取扱い	○

○ 令和3年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和4年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

年間を通して計画的に不祥事ゼロプログラムの課題項目に取り組み、職員の事故防止の意識を高めることができた。

令和4年度も、生徒に対するわいせつ・セクハラ防止、財務事務等の適正執行、個人情報等の管理を重点課題として、不祥事防止会議及び事故不祥事防止研修を計画的に実施し、また、日常的に、様々な場面において、情報提供や相互に声かけをするなどして、職員の事故防止の啓発を行い、事故・不祥事の未然防止を実現させる。